

三菱パイプ用ファン

形名

V-08PPRD

据付説明書

〈屋外設置式 フード一体形ファン〉  
浴室・トイレ・洗面所用

販売店・工事店様用

別冊の取扱説明書は「お客様用」です。必ずお渡しください。

据付けを始める前に、必ずこの説明書をお読みになり、正しく安全に据付けてください。

- 電気工事は電気工事士の方が実施してください。
- この製品は屋外用です。
- この製品は住宅用です。業務用など、それ以外の用途で使用しないでください。(故障の原因となります)
- トイレ・洗面所の二部屋換気を使用する場合、外風の吹き付けの強い場所で使用しますとトイレの臭いが逆流するおそれがあります。
- この製品の運転・停止にはシステム部材または市販のスイッチが必要です。

形名	電源仕様	適用パイプ	付属部品
V-08PPRD	速結端子	●塩化ビニル管…VP、VU (呼び径 100 mm) ●鋼板管 (内径 100 mm)	●木ネジ …2本

お願い

- 室外温度が常時 40℃以上になるところには据付けしないでください。(モーターの寿命が短くなる原因になります)
- 搬送空気温度が 50℃以上になる場所では使用しないでください。(モーターの寿命が短くなる原因になります)
- アルミフレキシブルダクトへの据付けはしないでください。(振動の原因になります)
- 効果的な排気を行うために給気口を設けてください。
- 十分強度のあるところに据付けてください。
- 有機溶剤や酸・アルカリ洗剤が直接触れると塗装の剥離や製品各部の変色、発錆の原因となります。製品据付け後、外壁の吹付け塗装や酸洗いを実施する場合は、有機溶剤が製品に触れないように、必ず養生をしてください。また、養生をはずした後は、必ず製品を水洗いしてください。

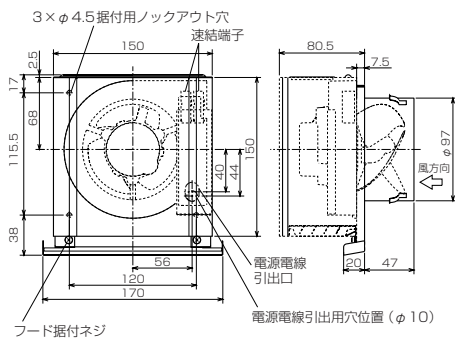
安全のために必ず守ること

●誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を次の表示で区分して説明しています。

警告		誤った取扱いをしたときに死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの	
<p>水ぬれ禁止</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●製品を水につけたり、水をかけたりしない。ショートや感電の原因。</li> </ul>	<p>指示に従う</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●メタルラス張り、ワイヤラス張り、または金属板張りの木造の造営物に金属製ダクトが貫通する場合、金属製ダクトとメタルラス、ワイヤラス、金属板とが、電氣的に接触しないよう据付ける。漏電・発火の原因。</li> <li>●外気取入口は、燃焼ガスなどの排気口より離れた位置に設ける。室内の酸欠の原因。</li> <li>●交流 100V を使用する。直流や交流 100V 以外を使用すると感電の原因。</li> </ul>
<p>分解禁止</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●改造や分解はしない。火災・感電・けがの原因。</li> </ul>		

注意		誤った取扱いをしたときに軽傷または家屋・家財などの物的損害に結びつくもの	
<p>禁止</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●直接炎のあたるおそれのある場所や油煙・有機溶剤・可燃性ガスのある場所には据付けしない。火災の原因。</li> <li>●指害、温泉害の発生している場所には据付けしない。腐食、落下、漏電 (感電)、故障の原因。</li> </ul>	<p>指示に従う</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●室内側に必ず吸込口 (グリル) を据付ける。</li> <li>●部品の据付けは確実に行う。落下によるけがの原因。</li> <li>●本体の据付けは十分強度のあるところを選んで確実に行う。落下によるけがの原因。</li> <li>●電気工事は電気設備の技術基準や内線規程に従って安全・確実に行う。接続不良や誤った電気工事は感電や火災の原因。</li> <li>●据付け後、長期間使用しないときは、分電盤のブレーカーを切る。絶縁劣化による感電や漏電火災の原因。</li> </ul>
<p>指示に従う</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●電気工事は必ず電気工事店に依頼する。感電や火災の原因。</li> <li>●据付けの際は必ず手袋を着用する。着用しないといけない原因。</li> </ul>		

外形寸法図



付属部品

木ネジ……………2本  
(φ 3.5 × 32、ステンレス製)

適用パイプ

- 塩化ビニル管 …VP、VU (φ 100)
- 鋼板管 (内径 100)

据付方法

1. 据付け前の準備

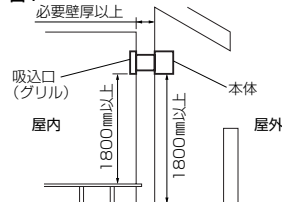
1. 据付け場所を決めて穴をあける。

- 必要壁厚に応じてパイプの長さを決めてください。参考：P-13GL5 (吸込口グリル) 使用の場合

必要壁厚 (101 mm) ≥ 本体埋込寸法 (47 mm) + グリルのパイプ接続部 (52 mm) + 余裕しろ (2 mm)

- 本体および吸込口 (グリル) は図 1 のメンテナンス可能な位置に据付けてください。
- フードを取りはずすために、パイプ中心から天井までの距離を図 2 のように確保してください。※点検・修理は屋外側からとなりますので、特別な足場等が必要となる場合は、お客様負担となります。あらかじめご了承ください。

図 1



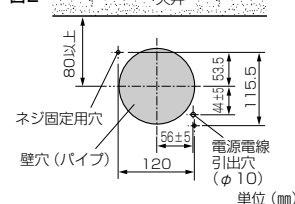
2. 壁にパイプを確実に固定する。

パイプと壁のすき間はコーキング処理を施す。(天井吸込の場合図 3 のダクト工事をする)

お願い

- パイプは雨水の浸入を防ぐため屋外側に 1/100 以上の下りこう配をつけ、固定してください。
- 壁内への雨水浸入を防止するためパイプは室内壁面まで差し込んでください。

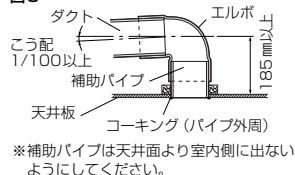
図 2



3. ネジ固定用の穴をあける。

- 外壁に図 2 のように下穴を 2 か所あけてください。※コンクリート壁に据付ける場合は φ 3.5 × 32 の木ネジ対応のカールプラグを使用し、指定の下穴を図 2 の位置にあけてください。

図 3



2. 電気工事

警告

- 交流 100V を使用する。直流や交流 100V 以外を使用すると感電の原因。

注意

- 電気工事は電気工事士の方が「電気設備に関する技術基準を定める省令 (及び同解説)」及び「内線規程」に従って安全・確実に行う。接続不良や誤った電気工事は、火災・感電の原因。
- 電気工事は電気工事店に依頼する。感電の原因。

1. 電源電線を右図の電源電線引出穴から屋外へ引出す。

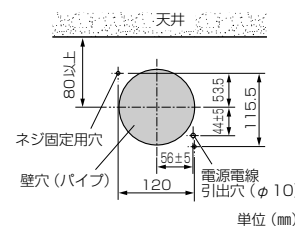
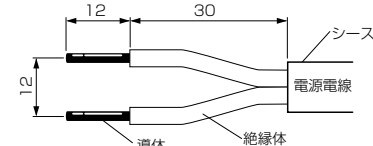
- 電源電線は VVF φ 1.6 2 芯をご使用ください。

2. 電源電線の先端を下図に合わせて皮むきする。

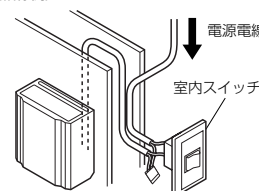
- 端子への水の浸入・ほこりの侵入を防ぐため、皮むき寸法を必ず守ってください。

3. スイッチ設置工事をする。

- 市販のスイッチを使用する場合は適切なスイッチ (低ワット (定格 0.5A) 用) を選定して結線してください。



〈結線例〉

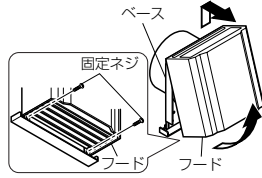


### 3. 本体の据付け

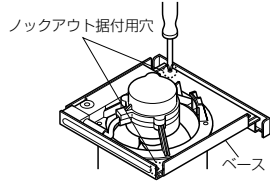
#### お願い

- 壁とダクトの間に防水工事がされていることを確認してください。

- フード下部にある2本のフード固定ネジを取りはずし、フードを手前に持ち上げて取りはずす。  
※ネジは着磁したドライバーに付かないため紛失に注意してください。

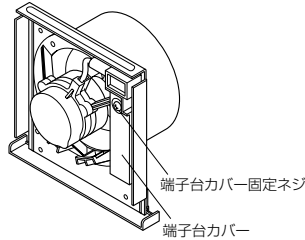


- ベースのロックアウト据付用穴3か所のうち対角の2か所をドライバー等で抜く。

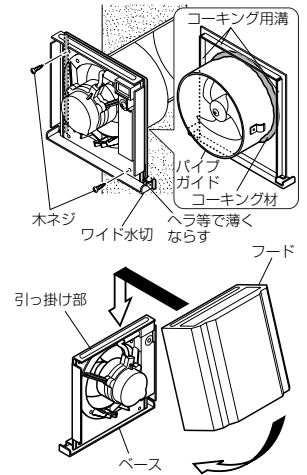


- 電源電線を速結端子に差し込む。

- ①電源電線を下図のように曲げる。
- ②端子台カバー固定ネジをゆるめて、端子台カバーを開く。
- ③電源電線を電源電線引出口に通し、速結端子に差し込む。  
※電源電線を差し込む際、シース部を持って、押し込むようにすると入りやすくなります。  
※電源電線を軽く引っ張って速結端子に確実に固定されていることを確認してください。
- ④端子台カバーを元通り閉じて、確実にネジを締める。



5. 開口部が下側になるようにして、外壁まで配管されたダクトに差し込み、付属の木ネジ(2本)で確実に固定する。  
※電源電線により端子台カバーに浮きがないことを確認してください。  
※端子台カバーが浮く場合は、端子台カバーを開けて、電源電線を壁内に押し込んだ後、端子台カバーを閉じてください。



6. ベースの上部と側面部のコーキング用溝全体に、市販のコーキング材で外壁部の防水処理を施す。  
※図のようにワイド水切の端部はコーキング材を薄くし、ヘラ等でならして防水処理をしてください。  
※コーキングをする際にコーキング用溝以外にコーキング材が付着しないように注意してください。

7. フードをベース上部に引っ掛け、フード下部にある2本のフード固定ネジで固定する。  
※1.4N・m以下の締付トルクで締め付けてください。

8. 以上の据付けが完了した後、ベースとフードが確実に据付けられているか確認する。

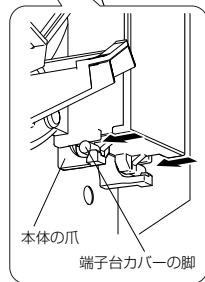
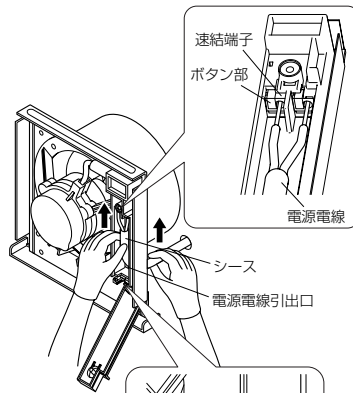
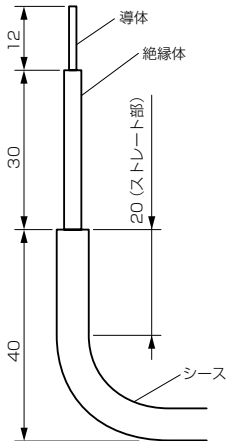
### 4. 室内側吸込口の据付け

室内側に市販の吸込口(グリル)を据付ける。

- 吸込口(グリル)の据付けは吸込口(グリル)の据付説明書の指示に従ってください。

### 5. 試運転

- 室内スイッチの入・切で換気扇が運転・停止するか確認してください。
- 異常な音・振動がないかを確認してください。



#### お願い

- 電源電線の皮むき部分は確実に速結端子に差し込み、端子より出ないようにしてください。(ショート等の原因になります)
- 電源電線を速結端子よりははずす場合は、ボタン部を押しながらゆっくり電源電線を引き抜いてください。
- 端子台カバーが外れてしまった場合、右図のように端子台カバーの脚を本体の爪に固定してください。  
※カバーを確実に固定しないと、感電や火災の原因となります。

4. パイプガイドに市販のコーキング材で防水処理を施す。

- ※コーキング材はリベットが隠れる程度(厚みは10mmを目安)施してください。

